

日中韓化学物質管理に関する 政策ダイアログの報告

環境省環境保健部化学物質審査室
室長補佐 高橋 亮介

日中韓化学物質政策ダイアログ

○平成18年12月 第8回日中韓三カ国環境大臣会合

「化学物質管理に関する政策や規制に関する情報交換の推進」について合意

○平成19年11月 第1回日中韓化学物質政策ダイアログ

目的：これまでの情報交換の進捗を確認するとともに、日中韓における化学物質管理の取組の現状及び今後の方針についての情報を共有し、これらの課題に対する三カ国の連携可能性について検討すること

日中韓化学物質政策ダイアログをこれまでに8回開催

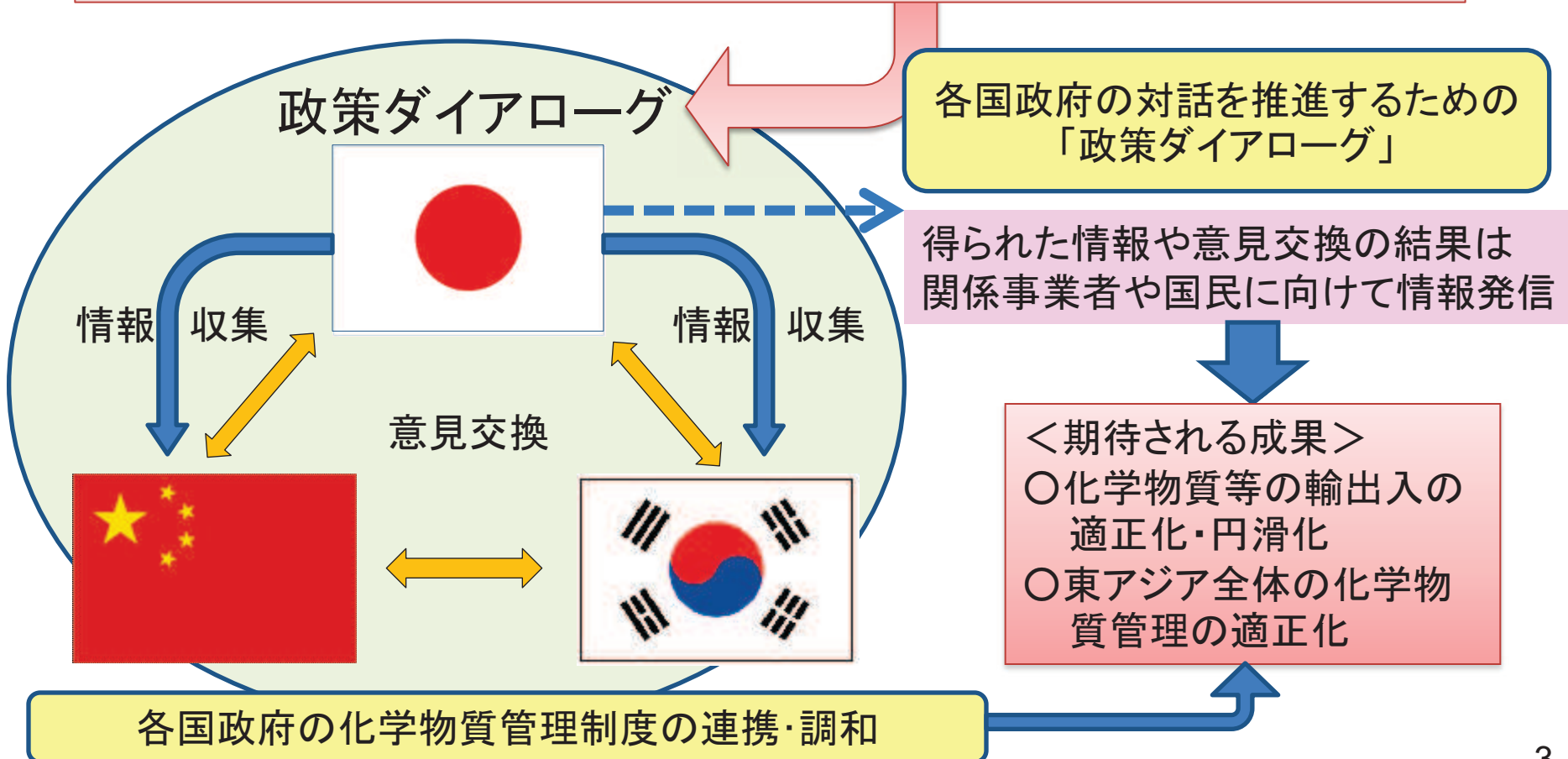
H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
日本	韓国	中国	日本	韓国	中国	日本	韓国
(東京)	(ソウル)	(北京)	(東京)	(濟州島)	(杭州)	(京都)	(濟州島)

今年は11月に韓国にて開催

日中韓の化学物質政策の調和に向けて

○化学物質管理に関して我が国と密接に関係する中国及び韓国と化学物質管理についての検討を行う。

東アジア域内(特に日中韓三カ国間)の化学物質等の輸出入等は頻繁に行われているため、地域内の化学物質の適正管理は各国・関係事業者にとって重要



第8回日中韓化学物質管理に関する 政策ダイアローグの結果

第7回日中韓化学物質政策ダイアローグの結果

1. 日程

平成26年11月

- (1) 11日(火): 日中韓の化学物質管理に関する専門家会合(非公開)
- (2) 12日(水): 第8回日中韓政府事務レベル会合(非公開)
- (3) 13日(木): 日中韓の化学物質管理政策に関するセミナー(公開)

2. 開催地

韓国・済州島 オリエンタルホテル

3. 参加者

日中韓の政府関係者、専門家等

(1) 日中韓の化学物質管理に関する専門家会合

日時： 11月11日(火)14:00～17:30

参加者：18名(日中韓の政府関係者及び専門家等)

内容：

① 共同研究の進捗及びGLP施設への現地調査結果の意見交換について

- 日中韓3カ国の専門家による化学物質に係るミジンコ急性遊泳阻害試験に関する共同研究の進捗の報告を行い、結果について後日公表することが合意された。
- 本年6月に実施された韓国のGLP施設への視察について意見交換を行った。

② 今後の取組について

- 我が国の提案により、日中韓における生態毒性試験の技術的な比較を更に進めていくため、魚類急性毒性試験の共同研究等を実施することが合意された。

(2) 第8回日中韓政府事務レベル会合

日時: 11月12日(水) 9:30~18:00

参加者: 22名(日中韓の政府関係者及び専門家等)

内容:

① 化学物質管理政策に関する意見交換

- 日中韓における化学物質管理政策が大きく進められていることを踏まえ、制度制定の考え方や最新動向に関して活発な質疑応答がなされた。

② 化学物質管理に関する国際動向への対応に関する情報交換等

- ナノ材料の安全性評価に関する取組の紹介等の日中韓における国際的な化学物質管理への対応について情報交換を行った。
- 水銀に関する水俣条約に対応するための水銀管理の状況等について意見交換を行った。

③ 今後の取組について

- 次回会合では、既存化学物質のリスク評価手法や評価結果、水銀に関する水俣条約の批准に向けた対応の最新状況等について情報交換を行うことが合意された。
- 専門家会合において、魚類急性毒性試験の共同研究に加え、新たにQASR等の非動物試験への取組について情報交換を行うことが合意された。
- 次回会合は、来年10月又は11月に中国で開催される予定。

(3) 日中韓の化学物質管理政策に関するセミナー

日 時: 11月13日(木) 14:00~17:35

出席者: 約200名(日中韓の政府関係者、専門家及び一般参加者)

内 容:

①中国における化学物質環境管理の最新動向について

講演者: 中国環境保護部污染防治司 Du Keixiong

②日本における化学物質審査規制法の最新動向について

講演者: 日本環境省化学物質審査室 高橋亮介

③韓国における化学物質の登録及び評価の体系化について

講演者: 韓国環境部化学物質管理課 Lee, Seung-Jun



The Latest Policies for Chemical Environmental Management in China

Du Kexiong, Deputy Director Level Officer
Division of Chemicals Management
Department of Pollution Prevention and Control,
Ministry of Environmental Protection
Nov 12 , 2014

1



MAIN CONTENTS

- I. Environmental Situation
- II. New chemicals management
- III. Existing chemicals management
- IV. Future Plan and Priorities

2

日本の発表内容

Nov 13th, 2014 Open Seminar on Chemicals Management Policies

Latest Development of Chemical Substances Control Law in Japan

November 13th, 2014
Open Seminar on Chemicals Management Policies

Ryosuke TAKAHASHI
Chemical Evaluation Office
Ministry of the Environment, JAPAN

Table of Contents

1. Chemical Substances Control Law (CSCL)
 - Overview
 - Evaluation/ verification of new chemicals
 - Response to Class I specified chemical substances
 - Risk assessment under CSCL
2. Pollutant Release and Transfer Register Law -PRTR-
3. The Strategic Approach to International Chemicals Management (SAICM)
4. Minamata Convention on Mercury
5. Japan Environment and Children's Study (JECS)
6. Cooperative Enterprise with respect to Chemicals Management in Asian Countries

2

韓国の発表内容

Systematization for Registration and Evaluation of Chemical Substances

Nov. 2014

Ministry of Environment
Chemical Management Division



CONTENTS

- 1 Background and Progress
- 2 Main Regulations
- 3 Follow-up Implementations
- 4 Future Plan

御静聴ありがとうございました。

平成26年11月17日:

日中韓における化学物質管理に関する政策ダイアログの結果について

URL: <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18914>

化学物質国際対応ネットワーク

URL: <http://www.chemical-net.info/>

環境省環境保健部 保健・化学物質対策サイト

URL: <http://www.env.go.jp/chemi/index.html>